

主な事業方針

○本園舎建替えに向けた準備の開始

今年1月11日で創設満69年となる児童福祉施設となった。戦争孤児の保護、貧困の救済、非行・不登校など児童の問題行動の改善といったふうに入所理由が社会の歴史と共に変化してきた児童養護施設である。現在では家族からの虐待に苦しむ子どもたちへの支援が留まらない状況で当園においてもこの過去10年は、入所児童の約8割が被虐待児童である。子どもそのものを大人が受け止め、愛を注ぎ育てということは難しいながらも一番大切なことであることはいつの世にも言えることである。この状況を加味し、当園は平成22年度と27年度に分園を増築し、園全体で子どもの生活拠点の小規模化を図ってきた。国のビジョンでは、定員を6名にするという更なる小規模化を目指しているため、もともと10名定員で建築された本園の児童棟3棟の小規模化（定員6名）を目指し、より専門的な支援体制の中できめ細やかに養育できる環境を整えたいと考える。また地盤沈下による園舎の傾きを改善するためにも令和5年度の新体制スタートに向けてすすめていく。

（基本設計・仮住まい検討・鳥取市との借地契約の確認等）

○防災・防犯設備と教育の強化、安心できる共助体制構築

水被害を受けやすい地域であることや、近年の異常気象による自然災害は今後必ず起こり得る問題である。自らの命を守る教育と地域との共助体制を引き続き強化していく。（福祉ゾーン施設との協力体制：定期的な会議、研修、訓練）

また、2019年2月、児童養護施設の施設長が元入所者の青年に刃物で命を奪われた事件（東京）が発生してから1年が経つ。退所していった青年たちの行く末を見守り続け、実際に支え続けていることは、全国どの施設でも同じで当園も例外ではない。その他、障がい者施設を狙って多くの入所者が殺害された事件も発生している。この状況を考え、令和元年度に防犯カメラを設置したところだが、令和2年度には、分園に非常通報装置を設置する。

○退所児童に対するアフターケアの充実

この春は6名の子どもが退所。先に述べた事件にも繋がるが、社会に上手く適応していけるように引き続き、アフターケアを丁寧に実施できるようチームとして子どもとその家族のために計画的に取り組んでいく。併せてこの支援を専門的に実施できるよう生活支援専門員の育成にも取りかかる。また令和2年度は、退所後の生活をスムーズにしていくために高校生を対象としてまず食生活部門の支援から始めたい。（自立支援実習室の活用）

○ホーム長及び包括長を対象の人材育成に向けた研修の強化

令和元年度は、8月より定員の35名に達した。これは日頃の当園の養育方針に対して児童相談所が理解を示し、子どもを託された結果だと自負している。更に、高校3年生の円満退所だけでなく家庭復帰を果たす小学生もあり、家族支援の成果もみられる。また、里親支援専門相談員の働きで、家庭に帰れない児童が家庭生活を体験できるよう里親との交流も充実している。こうして、職員の丁寧な支援が引き続き行われるよう専門的な支援のスキルアップに努める。職員体制については、産休育休に入った職員2名が、安心して産後の子育てに専念できる制度を利用することができている。しかし、一方で、退職に至る職員が相次い

だ。職員あつての事業所である。棟の大黒柱となる長として自らが、部下のために働きやすい職場、やりがいのある職場になるよう、そして子どものために養育の追求をめざせる人材育成に取り組んでいく。

○地元保育園への入園（私的契約）実現

未就学児童については、平成26年度より鹿野こじか幼稚園にお世話になっていた。この度、国の保育料無償化施策に伴い、鳥取市より当園の幼児に対して保育園への入所を配慮すると申し入れがあった。これを受け4月より地元のすくすく保育園に通園を再開する運びとなった。あくまでも私的契約のため保育園の定員に空き状況がある場合に限るが、今後は、より地域の中で生まれ、就学時にも友達と同じ学校に行けることや、職員の送迎負担を軽減できることにもなる。

○地域貢献事業

引き続き公民館・子ども会事業への参画や地域のけたかくるりこども食堂へ参画していく。

○なりすなどの連携

事務の効率化等のため本部へ事務部門を移動するほか、プレイルームとして子どもの遊びの場を館内に設置することによりお年寄りとの距離を近くに感じ、家族的な交流を体験できるよう努める。

1、青谷こども学園運営基本方針

『すべての児童の幸福を よい環境の中で』

～あの子もこの子も皆の子である。

身の限り、心の限りを尽くしても すべての児童の幸福を よい環境の中で育てたい～

- 一、私たちは、安心安全な環境及び運営の資質向上に努めます。
- 一、私たちは、子どもの尊厳を守り、人権侵害の防止に努めます。
- 一、私たちは、子どもの個性を理解し、信頼関係の構築に努めます。
- 一、私たちは、再び家族として歩み寄れる子ども・親支援に努めます。
- 一、私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもの育成に努めます。

2、運営事業

○児童養護施設 青谷こども学園 入所定員35名

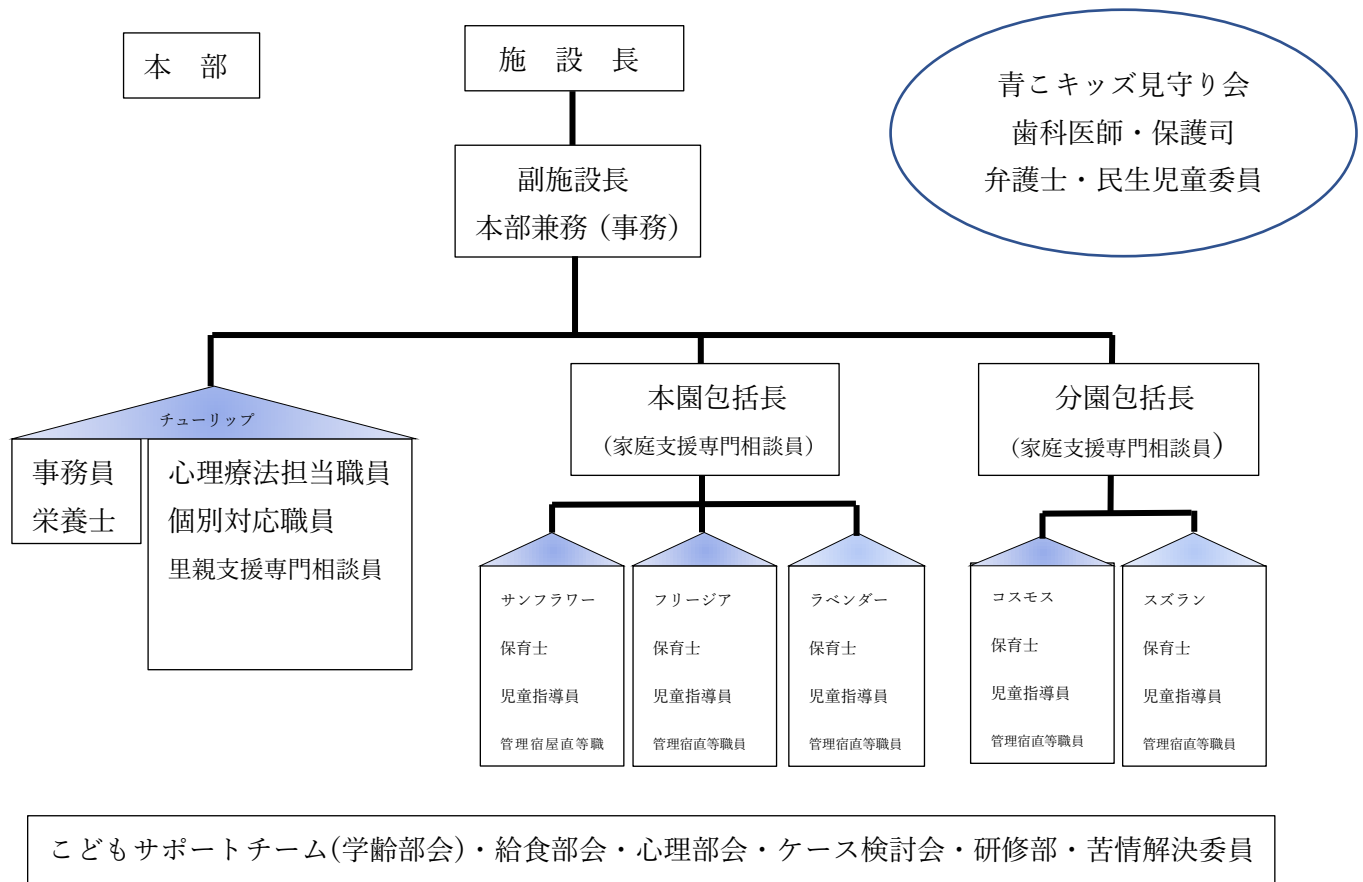
施設内小規模グループケア（本園 1棟7名定員が3棟）

分園型小規模グループケア（分園 1棟7名定員が2棟）

○子育て短期支援事業（市町との契約・・・4市町の予定）

○里親支援事業（鳥取県との契約）

組織図



3、養育の重点

あたりまえの家庭生活・あたりまえの家族関係

あたりまえの幸せの基礎を培う

- (1) 安心・安全・清潔な環境の中での生活習慣の定着
- (2) 心身の回復と、健全な育ちの支援
- (3) 社会性の向上と感謝の醸成
- (4) 共に創り上げる自立への筋道とアフターケアの継続
- (5) 親子関係の修復と家族支援
- (6) 里親・関係機関等との連携強化と地域と歩む生活

具体的支援方法は、年度毎に学園の手引きに掲載し、全職員に配布

4、本年度の努力点

(1) 組織力UPの施策＝組織としての人材育成と自己啓発による研鑽

①研修体制：人材育成システムの構築と計画的研修体制の充実

<p>管理的職員 組織管理運営 指導的職員① (ホーム長・基幹的職員) 組織運営に参画 <u>9名</u> ↓</p>	<p>専門的研修・ルーティンワークと組織運営に関する評価及び改善 ケースのアセスメントとカンファレンス・スーパーバイズの進め方を充実 メンタルヘルスケア等、職員が働きやすい環境整備 児童・保護者へのサービスの展開を描き問題点を発見 キャリアアップ研修 人事・労務管理の基本の理解・制度や意識の理解 第三者評価受審の検証</p>
<p>指導的職員② 組織運営に参画 <u>7年以上 7名</u> ↓</p>	<p>専門的研修・ルーティンワークと組織運営に関する評価及び改善、ケースのアセスメントとカンファレンス・スーパーバイズの進め方を充実 人事・労務管理の基本の理解・制度や意識の理解</p>
<p>中堅的職員 運営管理の理解促進と参画 <u>4～6年 6名</u> ↓</p>	<p>とり○子育て・セカンドステップトレーナーの養成。 障がいの特性理解と養育支援、チームアプローチの有効性と重要性の学習 日常的観察のポイント・OFF-JTの奨励(施設間交換研修)。 人事・労務管理の基本の理解・制度や意識の理解 適切な予算管理での事業の遂行・キャリアアップ研修 中国地区児童養護施設職員研修会鳥取大会(米子)スタッフとして参画</p>
<p>新任職員 組織運営管理の基礎の習得 <u>1～3年 7名</u></p>	<p>基本理念、就業規則の理解、組織の一員としてのあり方、権利擁護と人権侵害防止、OJT・OFF-JT、ルーティンワークのスキルの継承・伝達、とり○子育て研修の習得 セカンドステップの理解、新入所児のアセスメントの理解・養育支援のシュミレーション化 園内ケース会参加。県養各調査研究部会所属</p>

②各ホーム経営の充実

職員と子どもが寄り添い、共に育っていく家庭的環境を整える。

個々のケアをしながら家族の絆（家族の一員としての自覚）を育成する。

ホームを越えて、職員同士の相互扶助（協働意識）を大切にする。

<p>職員</p> <p>ワンランク上の 自分育て</p>	<p>組織の一員としての自覚（職員異動ありでも養育の質の保障）</p> <p>O J T…生活支援スキル・報告・連絡・相談</p> <p>相互のメンタルケア</p> <p>福祉サービスのレベルUP</p> <p>児童自立支援計画票は、本人・保護者・関係機関の意向を聞きながら丁寧 に作成</p> <p>他ホームとの交換夕食会の実施</p> <p>職能成長を果たす専門研修参加</p>
<p>児童</p> <p>子どもの最善の 利益のために</p>	<p>権利ノート読み合わせ（学齢部会・児相との面談）・プライバシーの保 護・年齢別自治会における自己表明の場の保障・自立のための継続的ラ イフスタイルの支援</p> <p>自分史づくり（アルバムづくり）自立支援計画票作成等に参画</p> <p>子どもの“夢”を職員と共に語り育てていく</p> <p>金融教育講座・自衛隊防災講座・学ボラ講座・華道講座</p>
<p>共通体験研修 （子ども&職員） 共に活動する喜び</p>	<p>交流活動（鳥取中央ライオンズクラブ__地引網体験、青谷町民生児童委 員__そうめん流し、東部里親会__B級グルメ店、中部里親会__土に親し む体験、ガイナレー選手__ふれあい交流、秋季バス遠足）</p> <p>各ホーム毎の県内体験研修 児童代表者会・学齢別会議への参画</p> <p>青こキッズ見守り会によるミニ講義</p>

（2）施設環境の整備等

<本園>

- ・建替えに伴う概略設計案の作成（県への相談）
- ・2階居室 全畳表替え又は入替、ふすま張替え(痛みが激しいもの)

<分園>

- ・和室の畳表替え（コスモス）
- ・誘導灯交換（コスモス）
- ・AED 設置
- ・プレハブ物置設置
- ・非常通報装置設置（防犯）

5、ホーム経営

在籍児童数

令和2年4月1日

	サンフラワー		フリージア		ラベンダー		コスモス		スズラン		全体	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
幼									1		1	
小	3	3	1				2	1	2	1	8	5
中			3		2						5	
高		1	3		4			2		1	7	4
小計	3	4	7		6		2	3	3	2	21	9
合計	7		7		6		5		5		30	

ホーム経営案（略）

関係機関による会議及び研修

鳥取県児童養護施設協議会・県児童福祉入所施設協議会・その他中国地区、西日本、全国研修等

県内機関		県外機関
県養協 調査研究委員会	生活支援部会	こどもの虹情報センター 各専門研修（横浜）
	乳幼児部会	西日本子ども研修センターあかし 各専門研修
	保健衛生部会	中国地区児童養護施設職員研修（今年度鳥取）
	会計事務部会	西日本児童養護施設協議会職員セミナー（熊本）
	心理士部会	全国児童養護施設長研究協議会（新潟）
	家庭支援部会	全社協ファミリィーソーシャルワーカー研修（東京）
県養協 特別委員会	IT サポート部会	全養協中堅職員研修会（東京）
〃	権利擁護チーム会議	子どもの性を考えるセミナー（春季・秋季）
児入協	施設間訪問研修チーム会議	
里親養育研修会		
児童福祉施設給食関係者研修会		

主な活動計画

	園関係	児童（学校・地域）	職員
4	春休み帰省 避難訓練（消火・防災・防犯体制 の確認）	入学式・入園式・始業式 PTA 総会・参観日・家庭訪問 西町子ども会春神輿 （中3）修学旅行	辞令交付 各ホーム経営の話し合い（児童と職員） 小・中との全体連絡会 ひだまり定時社員総会 東部里親会・鳥取県里親会総会 （日置谷）育成部会 部活動保護者会
5	こいのぼり 避難訓練（火災） やまびこクラブ田植え	（小）運動会 （保）親子遠足 （中1）宿泊研修・各学校健康診断 （中2）職場体験学習（わくわく）	第67回中国地区里親大会（岡山） 中国地区児童球技大会担当者会議 鳥取県児童養護施設協議会運営委員会・代議員会

	GW 帰省不可能児童外出	(中・高)PTA 総会・定期考査 (高)高校総体～6月	鳥取県児童福祉入所施設協議会
6	避難訓練(水害) ライオンズクラブさんとの交流会 児童球技大会練習 中部里親さんとの交流会	(中)東部総体 (小・中)合同資源回収 (高)定期考査 (小5)船上山宿泊学習	保育実習受け入れ 鳥取県児童養護施設協議会調査研究委員会 中国地区児童養護施設協議会職員研修会(鳥取)
7	児童球技大会練習 施設合同キャンプ～8月 ひだまり自立研修 避難訓練(火災)	(中)県総体・個別懇談・定期考査 夏季休業～8月 (保)保育参観	(小)救命救急講習会
8	園内サマーイベント 中養協児童球技大会 自然体験活動推進事業参加 避難訓練(夜間火災)・長期帰省 民生委員さんとの交流(?)	西町子ども会夏行事 西町子ども会秋葉祭(盆踊り) (中)夏休み明けテスト (小)環境整備	
9	避難訓練(福祉ゾーン合同:水害)	(保・中)運動会 定期考査 地区運動会	児童養護施設職員指導者研修
10	ひだまり自立研修・バス遠足 保育実習受け入れ・避難訓練(地震) 気高退公連さんとの交流会 東部里親さんとの交流会	(保)児童文化祭参加・祖父母参観日 (小・中)前期終業式・後期始業式	中養協職員球技大会 児童虐待防止関係機関及びDV防止機関合同研修
11	避難訓練(防犯)	(小・中)資源回収 (小)学習発表会 定期考査・(日置谷)文化祭	全国児童養護施設長研修会 里親サロン・児童虐待防止街頭キャンペーン
12	避難訓練(119番通報) クリスマス会 年末大掃除・餅つき 児童福祉展・長期帰省	(保)生活発表会 個別懇談会・冬季休業 子ども会クリスマス会・退団式	調査研究各部会 児童相談所とのケース連絡会及び関係者連絡会 児童福祉入所施設協議会職員研修会
1	避難訓練(火災)・長期帰省 帰省不可能児童外出(初詣) 小学校との連絡会	(保)保育参観・講演会・懇談会 定期考査 とんど火祭り	鳥取県児童養護施設協議会調査研究委員会 中国地区児童養護施設協議会施設長研修会
2	保育実習受け入れ 節分・豆まき 避難訓練(火災・非常食体験)	参観日 定期テスト	鳥取県児童養護施設協議会職員研修 里親委託等推進委員会
3	ひな祭り 祝賀会 年度末長期帰省 避難訓練(119番通報・火災)	(小・中・高)卒業式 高校入試 年末年始休業 子ども会入団式 高校入学説明会	東部圏域等暴力防止研修 鳥取県福祉人材センター運営委員会 救命救急講習 里親スキルアップ研修・支援移行会議 鳥短施設見学ツアー受け入れ